

僕の図書館戦争

中 相作

どん百姓とくそ坊主

「こんにちはッ」

「こんにちはッ。で始まるそのパターンそろそろやめにしたらどうですか」

「お経は読んでも乱歩は読まぬッ」

「今度はなんの話ですねん」

「腹が張つても屁はこかぬッ」

「知りませんがな」

「名張市立図書館の初代館長でございますッ」

「どなたですねんそれ」

「資料収集のしの字も知らぬッ」

「こっちこそ知りませんがな」

「図書館法のとも知らぬッ」

「知らんゆうのに」

「さ」

「どないしました」

「檀家まわり行かさしてもらわさしてきやさしていただかさしてもらわしてこ」

「好きなようにしたらよろしがな」

「ほんにやはらみたほんまによ」

「ほんまにお経読むんですか」

「かんじざいぼさつほんだからよ」

「君しまいに名張市仏教会あたりから叱られますよ」

「ぎやーてーぎやーてーほんまによ」

「そのほんまによとかほんでからよとかゆうのがまたようわからんわけですけど」

「ごこうのすりきれほんでからよ」

「そんなん落語の寿限無ですがな」

「大きなお寺ができましたあッ」

「なんでいきなりお寺が出てくるんですか」

「ご親族のかたから順にご焼香をお願いします」

「いったいどこのお葬式ですねん」